



歳入

次に、一般会計の歳入であります。市税は、8年度当初予算と比較いたしました。4・2%増の130億6千500万円、地方交付税は15億円、そのほか国・県支出金、市債等の特定財源は、対象事業を勘案して計上いたしました。

モーターボート競走事業につきましては、売上げ向上及び事業活性化のため、マークカード読取機設置等機器の自動化を推進するほか、ファンのニーズに応えるため、発売方法の多様化を図るとともに、

ナイターレースの早期開催を目指し、基本計画や実施計画を策定するなどの準備を進めてまいります。

9年度の本場1日当たりの平均売上金は、SG競走の開催がないこと及び景気の低迷などによる一般レースの1日当たりの売上高や入場人員の落ち込み等により、8年度と比較いたしました。10・5%減の3億3千400万円を見込んでおります。

また、宮城県川崎町内に設置する専用場外発売場「ボートピア

川崎」につきましては、10年初めのオープンを予定し、発売日数30日、売上金は1日平均3千500万円を見込んでおります。

以上、平成9年度予算の概要をご説明申し上げますが、厳しい財政状況の中、諸施策の執行にあたりましては、効率的に実施し、最少の経費で最大の効果をあげるよう努めてまいり所存であります。

市民の皆様には、なお一層の力を添えを心からお願ひ申し上げます。説明を終わらせていただきます。

るため、硯川河口を整備して、新たな進入路の確保を図ります。

内陸部の開発につきましては、相楽町荒井地区及び形原町角穴地区の地元の皆様や関係権利者のご理解を得ながら、事業化に向けて努力を重ねてまいります。

次に、農業振興であります。農産物の輸入自由化、産地間競争及び後継者不足など農業を取り巻く厳しい環境に対応するため、将来を展望した農業生産基盤の整備拡充に努めてまいります。

神ノ郷地区の緊急畑地帯総合整備事業の面的整備がほぼ完了し、全国有数の最新設備を誇るみかんハウス生産団地が誕生したところ

であります。引き続き当該地区で、蒲郡市農業協同組合が事業主体となつて建設中の総合集出荷場建設事業に対して支援してまいります。

さらに、9年度から西浦・形原地区のほ場整備事業に着手するとともに、豊岡・三谷地区におきましても、事業着手に向けて努力してまいります。

水産業の振興につきましては、漁業近代化施設整備や漁業団体等への助成を行うとともに、漁場環



境の保全に努め、魅力ある水産業の育成を図ってまいります。

商工業の振興につきましては、各種制度融資を継続的に実施するほか、商店街の活性化を図るため、商店街振

興組合等が共同で行う各種ソフト事業を支援してまいります。

また、地場産業の振興を図るため、「テックスピジョン77ミカワ」をはじめ各種事業や商工業団体に対しても、引き続き助成をしてまいります。

また、蒲郡観光八景選定事業や観光協会が取り組む東三河広域観光誘致宣伝事業及び蒲郡名物料理・土産品作成事業に対して、助成をしております。

また、蒲郡観光八景選定事業や観光協会が取り組む東三河広域観光誘致宣伝事業及び蒲郡名物料理・土産品作成事業に対して、助成を